

# メガソーラー建設規制を

## 党静岡県委員会が政府交渉

党静岡県委員会は25日、県民の切実な要求9テーマ25項目について、国へ要望しました。鈴木節子県議、地方議員ら17人が参加。もとむら伸子衆院議員、井上さとし参院議員、島津幸広前衆院議員（比例候補）が同席しました。

可がされるのはおかしいと訴えました。高すぎる国保料引き下げに公費をまた、高すぎる国民保険料の引き下げ問題では全国知事会が要求している1兆円の公費投入を実施し、協会けんぽ並みに引き下げるよう厚生労働省に要求しました。

経済産業省には、メガソーラー（大規模太陽光発電施設）事業に伴う周辺住民の安全対策を求めました。伊豆半島ではメガソーラー建設が10カ所以上（計画含む）に広がり、住民は森林伐採で大規模な土砂災害などが起きかねないと不安を訴えています。要請では、町や地域住民の意見を無視した建設を規制するよう求めましたが、国は、法に基づく防災措置を行っていけば規制の対象とならないと回答しました。

函南町の大庭桃子、田中正美両議員や町民は、地元住民を中心に反対運動が生まれ、県と町に建設反対署名を提出したことを説明。町議会は反対決議をあげ、川勝平太知事も建設反対だと言っているのに、建設許



もとむら伸子衆院議員は14日、衆院憲法審査会で、前回（7日）に引き続き欧州視察報告を受けての自由討論を行いました。もとむら議員は、視察団の報告で印象的だったのは、「憲法の体系を崩すことがないように十分に注意すべき」と述べたことだとし、「侵略戦争の反省に立った憲法9条の非軍事平和主義こそ日本国憲法の体系の根幹だ。この体系を崩してはならない」と強調しました。その上で、「あいちトリエンナーレ『表現の不自由展・その後』への政

医師・看護師が不足しているのに、統廃合の“風評被害”でさらに確保が困難になる。地域医療を守るために病院を残すべきだ」と強く撤回を求めました。

- 他の主な要望
- ▼オスプレイの市街地での飛行訓練をやめるよう米軍に要請すること
- ▼科学的根拠もなく環境破壊のリンア中央新幹線計画を推進しているJR東海を指導すること
- ▼幼児教育・保育の無償化に伴う財源確保と事務負担を軽減すること
- ▼「発達障害者（児）手帳制度」を創設すること
- ▼台風被災事業者への支援を強化すること
- ▼沼津市のごみ焼却場建設問題

### 地域医療を守れ

さらに厚労省が、地域医療構想として再編・統合の病院名を公表（県内は14病院）した問題では公表を撤回し、機械的・一律的に強行しないよう要請。看護師の女性は「今でも



## 欧州視察報告で討論

### 衆院憲法審 もとむら議員



治介入や、「桜を見る会」の安倍首相による私物化、招待者名簿の

「廃棄」など、憲法21条で保障された「表現の自由」や「知る権利」が脅かされていると指摘。「民主主義、国民主権の土台を崩すものだ」と厳しく批判し、憲法を踏みにじっている現状について予算委員会でも「徹底した議論が必要だ」と主張しました。